

当初予算案

「復活」と「挑戦」の継続へ

令和3年度予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の発症状況に対処するため、ワクチン接種の実施体制整備等に取り組むとともに、これまで取り組んできた「エスカード牛久ビルと牛久シャトーの復活」を引き続き最重点課題に。新しい生活様式を踏まえた方法で、市民サービスの低下につながらないよう、各事業の必要性、緊急性、費用対効果を検証し、事業採択を行いました。

令和3年度重点施策

●牛久シャトーを利活用する

継続 6871万5千円(担当/経営企画部)

●文化財を保護継承して活用する

一部新規 3504万3千円(担当/教育委員会)

国指定重要文化財であり、昨年6月に甲州市と共に日本遺産に認定された牛久シャトーの文化財保護を図りながら、観光資源として有効活用します。現在は牛久シャトー(株)が管理運営を行っており、明治期から続くワイン醸造の系譜が途絶えないよう、早期再開を目指し取り組んでいます。令和3年度は、昨年度甲州市と共に立ち上げた「**ワイン文化日本遺産協**」議会への負担金を計上しており、協

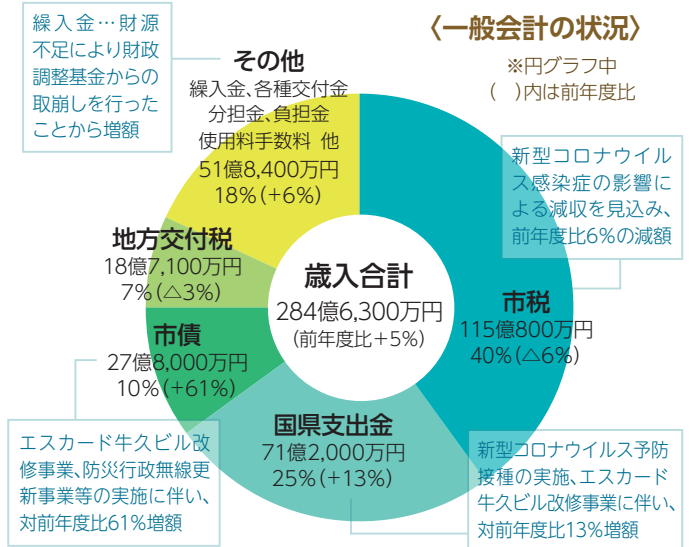


議会において国の補助金を活用しながら文化財活用や観光拠点整備等の日本遺産事業を実施する予定です。また、茨城県内日本遺産認定市(水戸市・笠間市)とも連携していきます。市と運営会社、そして牛久市民と三位一体で牛久シャトーを盛り上げ、「復活」を軌道にのせていきます。

一般会計	284億6,300万円
特別会計	156億7,000万円
企業会計	28億5,500万円
合計	469億8,800万円

〈一般会計の状況〉

※円グラフ中 ()内は前年度比



●エスカード牛久ビルの利活用を図る

拡充 1億1532万9千円(担当/経営企画部)

●エスカード牛久ビルに公共施設を整備する

拡充 4億3400万円(担当/経営企画部)

牛久駅前前の空洞化対策や中心街地の賑わいづくりに取り組んでいます。

令和2年度には、エスカード牛久ビル2階の一部リニューアルオープンをすることができましたが、現在でも空床が残る状況であることから、引き続きテナント誘致を進めていきます。

令和3年度から令和4年度までの2力年で、集客力、多世代交流、

学生等の利用促進を促し、多くの方々に利用される公共施設の整備を行います。牛久駅前賑わいづくりの拠点として、エスカード牛久ビルの「復活」を目指し、再整備事業に取り組んでいます。



エスカード牛久ビル 2階フロア

復活

牛久シャトー・エスカード牛久ビル



人口減少時代に打ち勝つ イノベーションへの取り組み



1 再び人口増のまちに するための取り組み

● 都市計画を適正に管理する

継続 1939万9千円

(担当/建設部)

北部地区における宅地需要に応えるため、市街化調整区域で民間活力を活用した宅地開発の手法を検討。令和3年度は、昨年度に続き該当地区における調査や都市計画決定図書作成、関係機関との協議等を実施します。

2 子育て環境充実の ための取り組み

● 予防接種を実施する

一部新規 2億2123万1千円

(担当/保健福祉部)

令和3年度から、子どものインフルエンザ予防接種に対して補助を実施(6カ月～6歳児の未就学児と、中学校3年生と高校3年生に接種助成)。



● おくの義務教育学校一休型
校舎を建設する

新規 7612万8千円

(担当/教育委員会)

令和2年4月に開校したおくの義務教育学校について、現在の北校舎(旧奥野小学校)および南校舎(旧牛久第二中学校)の建物等を一体型校舎として整備するための検討を行っている。令和3年度から4年度にかけて基本実施設計等を行います。

3 観光資源を活用した 活性化への取り組み

● 牛久市観光協会を支援する

一部新規 1402万円

(担当/環境経済部)

昨年6月にエスカード牛久ビル2階にオープンした牛久市観光物産館「いばらき自慢」の運営を引き続き支援します。

● 住井する文学館を公開活用する

継続 1004万3千円

(担当/教育委員会)

平成29年度に寄贈され整備を進めていた旧住井する邸について、関連資料等を公開活用する展示室を備えた文学館として令和3年9月ごろにオープン予定です。



4 高齢者が元気で安心して 暮らせるまちへの取り組み

● 高齢で車の免許証が無くても
安心のまちへの取り組み

継続 7849万6千円

(担当/経営企画部)

令和2年度から全車交通系ICカード対応を実施し、バスを6台に増やし、ひたち野うしく駅周辺へ新規ルートを開設しています。



● デマンド型公共交通 サービスを実施する

継続 3972万7千円

(担当/経営企画部)

民間路線バスやコミュニティバス等の公共交通手段のない地域の方や、高齢などの理由でバスの利用が困難な方を対象に、自己負担額の少ない移送サービスを提供します。



牛久市乗合タクシー「うしタク」

6 安心安全の充実した まちへの取り組み

● 防犯カメラを設置する

継続 236万2千円

(担当/市民部)

平成28年度より、駅周辺や団地内、市内主要交差点等に街頭防犯カメラの整備を行っています。令和3年度は引き続き、栄町5丁目交差点への設置を計画しています。

● 防災行政無線を更新する

拡充 1億817万9千円

(担当/市民部)

令和3年度は無線回線のデジタル化、屋外拡声子局既存設備改修等を行います。防災行政無線の更新を行い緊急時、災害時に備える体制の充実を図ります。



7 生活道路が便利なまち への取り組み

● 道路施設を維持補修する

継続 1億3413万4千円

(担当/建設部)

● 道路舗装を計画的に修繕する

継続 1億8500万円

(担当/建設部)

市道7号線・8号線・21号線等の舗装修繕を行います。

● 通学路の安全確保のため市道を改良舗装する

継続 2億7505万円

(担当/建設部)

市道53号線・56号線・1013号線等の整備を行います。

8 公共施設等総合管理 計画に基づく公共施設 等の長寿命化

● 中央生涯学習センターの
施設を改修する

拡充 1億5558万4千円

(担当/教育委員会)

昭和61年度に建設された中央生涯学習センターを大規模改修します。令和3年度から4年度にかけ、ホール棟、講座棟の屋上防水外壁改修工事を実施します。

● 図書館施設を改修する

拡充 5354万6千円

(担当/教育委員会)

長寿命化計画に基づき、令和3年度は屋上防水工事を実施します。



市の予算をもっと身近に感じられるよう、一般会計の予算を
年収540万円(1カ月あたり45万円)の家庭の家計に例えてみました。

- 市税
市民の皆さんが納めた税金
- 分担金・負担金
市のサービス等を受ける人たちが負担するお金
- 使用料・手数料
市営施設使用料や住民票の発行手数料など
- 国県支出金
市の事業に対し、国や県から交付されるお金
- 地方交付税
国税から地方に配分されるお金
- 各種交付金
配当割交付金、地方消費税交付金など
- 繰入金・繰越金
市の基金から引き出したお金、前年度に残ったお金
- 市債
大型の建設事業等のために、市が国や銀行などから借りたお金

収入		支出	
給与	386,000円	生活費計	319,000円
① 基本給	191,000円	食費	72,000円 ①
② 諸手当	195,000円	光熱費・通信費	89,000円 ②
③ 貯金取り崩し	20,000円	家族の医療費	111,000円 ③
④ ローン借入金	44,000円	家・車などの修理	47,000円 ④
収入合計	450,000円	家族への仕送り	92,000円 ⑤
		ローン返済	35,000円 ⑥
		貯金	3,000円 ⑦
		その他	1,000円
		支出合計	450,000円

- 人件費
市職員給料や議員報酬など
- 物件費
光熱水費、消耗品費など
- 扶助費
生活保護、医療費助成等の社会保障関係経費
- 投資的経費
道路・公園・施設の整備など市の資産形成につながる経費
- 維持補修費
道路・公共施設の維持経費
- 補助費等
各種団体への助成金など
- 繰入金
会計相互間で支出される経費
- 公債費
市債の元金や利子の償還金や一時借入金の利子など
- 積立金
将来の財源変動に備えて積み立てたお金

うしく家では、ローン返済が家計を圧迫しないよう
新たな借入を抑えています。



地域経済の活性化を図るため、牛久市商工会が発行するハートフルクーポン券事業を支援しています。令和3年度は、5億円の発行を予定しており、プレミアム分については通常分に加え、事業者負担分も全額市で支援します。

●ハートフルクーポン券
事業を支援する

一部新規 5727万3千円
(担当/環境経済部)



●牛久市商工会の運営を助成する
地域経済の活性化を図るため、牛久市商工会の運営を支援しています。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による市内事業者支援として、クーポン付きチラシ「うしくブルブル大作戦」の発行およびクーポン分に対する助成も実施します。

一部新規 2649万6千円
(担当/環境経済部)

●新型コロナウイルス感染症
予防接種を実施する

新規 4億1077万7千円
(担当/保健福祉部)



新型コロナウイルスワクチン接種の実施につきましては、国や県の指示に基づき、ワクチンの供給が可能となった際に、希望者が速やかに接種できる体制を構築し、安全な接種を進めていきます。

●駅周辺環境を適正に管理する

拡充 9179万7千円
(担当/建設部)



駅周辺が快適・安全に利用できるよう、利便性の向上を図ります。牛久駅西口歩道橋について、令和元年度から2年度にかけて既存施設の調査、屋根の設置方法や形状を検討するための基本設計および実施設計を行いました。令和3年度から4年度にかけて改修工事を行います。

●市営住宅を建設する

拡充 2億2169万3千円
(担当/建設部)

老朽化した市営住宅(猪子住宅)を解体し、新たに市営住宅の建設および敷地内ライフラインの整備を行い、市営住宅の集約化を図ります。新たな市営住宅の整備は令和3年度から9年度までを計画しており、今年度は市営住宅2棟の建設を行います。



完成イメージ

●教育行政推進のための
公益財団法人を設立する

新規 316万2千円
(担当/教育委員会)

多様化する教育行政のニーズに対応しつつ、公益性と収益性を両立させる手法として、特に社会教育分野の公共サービス実施機関となる財団法人を設立します。



◀当初予算の詳細は
市公式ホームページへ